

「みなとまち新潟 ニュータウン誕生祭」で周知活動を行いました。

塩と暮らしを結ぶ運動では、2019年4月27日（土）、新潟県新潟市の「新潟市中央卸売市場跡地」で開催された「開港150周年連携事業 みなとまち新潟 ニュータウン誕生祭 Dialand OPENING FESTA」
（主催：ダイア建設新潟株式会社）にて、周知活動を行いました。その様子をご紹介します。

古くから「交流のまち」として栄えてきたみなとまち新潟は、今年開港150周年を迎えます。そして、新潟に、この春、新しいまち「Dialand（ディアランド）」が誕生しました。このイベントは、「交流」をキーワードに、みなとまち新潟の歴史の紹介、新潟市内外の出展者によるマルシェなどを通じて、みなとまち新潟の魅力を伝えることを目指すものです。

新潟県で事業を展開している株式会社高助（全国塩元売協会、全国輸入塩協会会員）が、このイベントに出展し、みなと・海と縁の深い「塩」と暮らしの関わりについて、お伝えしました。

会場では、ハンドメイドマーケットや産直マルシェ、ステージイベント、子供向けのアトラクションなど、さまざまな催しが行われました。その中で、株式会社高助のブースでは、来場者の皆様に、塩と暮らしを結ぶ運動の冊子『塩と暮らしのなるほどBOOK』やクリアファイル、マグネットをお配りし、塩と暮らしの関わりについてお伝えしました。また、お子様には、塩イルカの風船もお配りしました。

イベント当日はあいにくの雨天だったため、来場者はそれほど多くはありませんでしたが、株式会社高助のブースでは、約200名の方に『塩と暮らしのなるほどBOOK』などをお渡しすることができました。お子様には、塩イルカの風船も「可愛い」と人気でした。

